

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名:放課後等デイサービスすまいる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	3		おやつ・テント遊び・プールなど、玄関先をすまテラスとして用途に合わせ使用している。	室内が窮屈にならないようにしている。週2回以上公園などに出かけ、広いところで遊ばせている。
	②	職員の配置数は適切である	7	3		職員は送迎もあるため5人または6人配置。毎日朝礼を行い、本日の予定確認や注意点を共有。	毎日の業務日報は支援員全員が共有するので、来ていない曜日の様子もわかるようになった。すまいるミーティング等で全員の意見を聞き改善に努めている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	3		引き続き洗面所への段差にジョイントマットを重ね、段差の解消等配慮。	玄関の段差には、黄色のテープで注意を促す。段差等は声掛けをしながらつまづかないように注意をする。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	3		業務日報で意見があれば、すまいる常勤MTGまたはすまいる全体MTGで改善策と今後のやりかたについて共有。	今後もすまいるミーティングを年4回開催し、その都度共有する。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	3		いただいたご意見について改善策を考え実行するようにしている。	評価表でのご意見はすまいる全体で共有し、よりよい支援につなげるよう
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	3		HPに公開しております。また利用者には通信を配布しております。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	3		第三者評価をおこなっていない。	次回の中期計画へ提案をしている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	3		常勤研修は月1回、また非常勤研修も年3回ほど実施。	次年度より、オンライン研修を実施予定。
適切な支援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	3		利用者のニーズについて年3回程度すまいるMTGで確認している。また常勤で利用者リーダーを置き問題点や対策を話し合い、皆で共有。	次年度より、分析した計画が作成できる様に研修を行う予定。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3		発達段階アセスメントシート(ver.7)を活用している。	次年度より、オンライン研修を実施予定。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	3		月1回企画会議を行なっている。また、年間スケジュールを立て月間ですることも企画しております。	他によりよいものがないか、検討中。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	3		プログラムは季節重視のものと、自立支援の課題を織り交ぜながら進めている。子どもたちのアイデアから生まれた遊びもゲーム制を持たせ、取り入れている。	今後は集団プログラムを、課題に合わせ習熟度で2つに分けて進めていくことも検討中。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
本の提供	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	3		個別プログラム（すまあっぷ）集団プログラムを組み合わせている。土曜日は新宿区主催のパドルテニスにも参加。長期休暇は、親子遠足やプールなどに行くことが出来	平日のプログラムの充実を図る。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	3		保護者のニーズを聞き取り、スモールステップでできる現在の課題と、個別活動、集団活動を組み合わせ支援目標を設定している	利用者ニーズに合わせたプログラムになるよう、さらに改善していく。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	7	3		毎日のスケジュールを当日担当者が発信している。また始まる前の朝礼で確認し、全員で共有している。	役割分担などを前日まで共有するようにする。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	3		終了後その日のうちに振り返りをし、職員全員に共有できるようにする。	その後早急に改善点を取りまとめるようにしてする。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	3		緊急のものについては、すぐに検討・見直し支援の徹底を行う。モニタリング・評価時に改善等をあげ、保護者に確認、共有をして頂く。	日々の支援記録のとり方は今後共有していく。
関係機関や保護者との連携関係	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	3		よりよい支援につなげるため半年に1回モニタリングをする。	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	3		ガイドラインを配布しミーティングで読み合わせ、支援の確認をする。	年1回以上の読み合わせをする。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	3		利用者担当リーダーと児童発達支援管理責任者が参画をしている。またその後全員で共有できるミーティングも設け	
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	3		情報共有が出来た学校もある。学校との連携は今後も積極的に行う。また学校のHPや保護者から情報収集し共有する。トラブルはフローチャートに従って処理する。	利用者の通う全ての学校と情報共有する。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	3		緊急的対応のフローチャートにより、主治医との連絡体制を整えている。	
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	3		連携が取れている保育園等とは情報共有している。	
㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	3		卒業した利用者の情報共有を求められた場合、提供している。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
機関や保護者との連携	②⑤ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	3		現在必要としている研修に積極的に参加している。 また、放課後等デイサービス連絡協議会へ毎回参加。	
	②⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7	3		土曜日や長期休みに新宿区のイベントに参加し、障害のない子どもたちと交流をしている。	今後も定期的に増やしていく。
	②⑦ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	7	3		今後も参加要請があれば積極的に参加する。	
	②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	3		サービス提供記録簿を今年度も改善。お子様の発達状況や課題について個別に都度お話をさせて頂いている。今後もご家庭との共有が出来るようになる	
	②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	3		保護者からの相談にしっかり向き合い支援をしているが、ペアレント・トレーニングは、検討課題にする。	
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	3		契約時、また変更時には説明を行っている。	
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	3		相談は適宜対応している。今後も必要な時には行う。	
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	3		3月に保護者会をzoomで開催。保護者交流として3月にフラダンスの発表会、8月には親子遠足を実施。	
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	3		苦情に対しては丁寧に取り組み必ず支援員同士の共有。改善策をあげ、すぐに実行に移している。苦情対応マニュアルと迅速に対応できるフローチャートを作成している。	
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	3		毎月のお便りで活動概要、行事予定を発信している。個人的な連絡は直接メール等にてお伝えしている。	
	③⑮ 個人情報に十分注意している	7	3		カルテは書庫にて管理。職員には個人情報の漏洩について契約時に説明を取り交わしている。	
	③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	3		利用者に情報伝達を平等に届けるため、絵カードの利用・言葉を大きくするなど配慮している。保護者とはサービス提供記録で情報伝達が出来	
	③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	3		今年度は地域住民を招待する行事は行っていない。	
③⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	3		マニュアルを作成済み。HPにあげる。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		3	今年は2回災害週間を行った。 また伝言ダイヤルも2回予定しており、1回目は実施済。伝言ダイヤルの実施は、役に立ててもらえているよう。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		3	法人研修を年1回実施。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		3	昨年同様、現在対象利用者がいないが必要な場合は障害者虐待防止法に基づき保護者に拘束の事前説明、署名と捺印、ご理解を得たうえで進める	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		3	基本は、保護者からの情報で把握を行い共有している。エピペン使用の研修を行った。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		3	法人の安全委員会で作成している。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。